

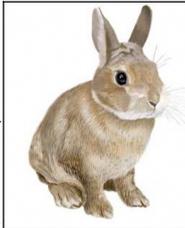


♪兎追いしかの山… は、今



トウモロコシ畑と中学校

今、「原」（はら；吉岡の台地）では、夏野菜トウモロコシの収穫が真っ盛りです。農家の方は、朝の5時頃から精を出しています。選別など出荷準備をして、直売所に並ぶのでしょうか。丹精込めて育てたトウモロコシ、今年は害獣の被害に遭っていないかと気になります。



オオタカ羽根

かつて、「原」には野ウサギやタヌキ、オオタカやカワセミ、フクロウやキツツキなど様々な動物が住んでいて、目撃したり音を聞いたりしました。ヘビにもよく遭遇しました。「吉岡中に練習試合に行ったら、兎（ウサギ）の糞があったのでビックリした。ここは熊谷か？」と言われたことがあります。森の散策で、横縞のオオタカの羽根を拾ったこともありましたが、でも、耕作放棄地の草原を走り回る兎の姿は、しばらく見ていません。狸（タヌキ）や鼬（イタチ）、カワセミは、まだ生息していますが…。それらと対照的に、アライグマやハクビシンなどの外来種の害獣や野良猫が増えてきました。農産物の被害も深刻になりました。



アライグマ



タヌキ

アライグマと狸は似ていますが、尻尾がシマシマか茶色一色かで見分けます。どちらも雑食で夜行性ですが、性格は正反対です。前者は木登りが得意で手先は器用、獰猛（どうもう）で攻撃的、人間には馴染（なじ）まないとされます。後者は木登りが苦手、臆病者で大きな音で気絶したりと、ちょっとユーモラスです。アライグマは、1977年、フジテレビ「世界名作劇場」で『あらいぐまラスカル』が放映され人気が出て、北米からペットとして多量に輸入されました。成獣となって手に負えなくなったり、放送終了と共にブームが去ってペットショップで売れ残ったりして、首都圏近郊の森に遺棄されたと言われます。日本の森には天敵がいないので、繁殖し続け、現在は47都道府県全域に生息し、農産物や環境に深刻な影響を与えています。吉岡の周りにも棲（す）んでいて、交通事故に遭ったり、校内で堂々と日なたぼっこをしたりしている事もありました。現在は、マングースやアメリカザリガニ、ブルーギルなどと共に「特定外来種」に指定され駆除対象になっています。人間のご都合で運命が変わるのもちょっと不憫（ふびん）ではありますが。



ハクビシン

白鼻芯（ハクビシン）は、中国大陸や東南アジアに生息し、中華料理では食材です。民家の床下や屋根裏などに棲み着き、夜行性で木登りが得意、雑食で農産物や生ゴミなど食い荒らします。空き家などは、格好のすみかです。こちらは実害がないと駆除できません。



遊歩道と階段



駐車場と里山

里山の7月の活動は、7月9日（日）、朝方の降雨のため中止となりました。

雨が上がったので、有志で遊歩道や中学校駐車場周辺を草刈り機で刈り払いしました。

8月は、お盆で休会、次回は9月です。暑さ厳しき折、ご自愛ください

次回活動日

9月10日（日）9:00～11:00（雨天中止）

随時参加者募集！作業に適した服装で、吉岡にお集まりください。

裏面に吉野川自然観察会の記事をお載せしております。